



白い産毛で覆われた厚みのある葉が特徴的

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。

企画財政課広報広聴係 ☎・内線1203

不思議な質感に興味津々

エンジェルウイングス販売会

国内で八幡平市が唯一生産している南米チリ原産の観葉植物「エンジェルウイングス」の販売会は5月15、22、29日の3日間、市役所で開かれました。

コロナ禍で需要が伸び悩む中、地元での販路拡大と認知向上につなげようと生産者が初めて開催。3日間とも1時間足らずで完売し、予想を超えるほどの盛況ぶりでした。購入者は早速肌触りを確かめて「ビロードみたいに滑らか」「ふわっとして柔らかい」と特徴的な質感に魅せられていました。



鉢やポットのほか、コケ玉やジェルビーズタイプも販売



こぶし程度の穴を掘り、植えた苗に土をかける児童

大きくなーれと願い込め

サラダファーム食育体験(サツマイモの定植)

サラダファーム食育体験は5月28日、サラダファーム内のほ場で行われ、平笠小1、2年の児童13人がサツマイモの苗約150本を植えました。

2年生の今村日鞠^{ひまり}さんは「今年も甘く大きく育てほしい。家族みんなでおいしく食べたい」と汗を拭い、笑みを浮かべました。

同小は昨年に引き続き、児童がつる返しなどの作業を経て収穫したサツマイモでスイートポテトを作り、田頭コミセン祭りでの販売を計画しています。

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

障がい者手帳お持ちの方へ

利用者さん大募集!

無料送迎
します!

体調に合わせて時間も調整できます。

業務内容

●薪づくり

●ベッドメイキング

●カブトムシ・クワガタ採り

●山菜・キノコ採り

他にも…田んぼ・木こり・畑仕事、家庭内清掃、草刈り、雪かき etc

障がい者就労支援施設
B型事業所

ハリハリ農林

八幡平市柏台3丁目122
☎0195-78-8833

お気軽に
ご相談ください

薬のプロフェッショナルが
あなたのご相談を承ります

漢方の あさひ薬局

西根中学校前店

公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師

薬剤師 斎藤 貴将

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311



山並みを背景にうれしそうに駆け回る牛たち

晴天と新緑に気分上々

3つの市営牧野が開牧

市営長久保牧野は5月26日、今季の放牧を始め、この日138頭の黒毛和牛が草地に放たれました。冬期間を牛舎で過ごした牛たちが、続々と運搬車に載って到着。予防接種を済ませ、ゲートが開くと一目散に新緑の草地に駆け出しました。他の市営牧野では、七時雨牧野が19日と29日に、上坊牧野が28日にそれぞれ放牧を行い、乳牛や日本短角牛を含めた延べ538頭が11月ごろまで、牧野での生活を送ります。

畑では地域の人々が先生

田山小で世代間交流「野菜を育てよう」

田山小1～4年の児童20人が6月9日、同校の近くに借りた畑でサツマイモの苗植えと大豆の種まきをし、地域住民と交流を深めました。この授業は、作物を育てることへの興味・関心を高めながら、地域住民との結びつきを深めるのが目的。収穫期には地域住民と一緒に採れたものを料理して食べる交流会を予定しています。サツマイモの苗を植えた外岡優輝君(2年)は「どのくらい大きくなるか楽しみ」と収穫を心待ちにしていました。



田山・館市のコミセン関係者など地域の人と一緒に



出荷式では温泉バジルを松っちゃん市場へ引き渡し

次世代農業が本格稼働

高石野団地熱水ハウス竣工式と出荷式

(株)八幡平スマートファーム(児玉則浩社長)は6月11日、高石野団地IoT次世代施設園芸事業熱水ハウス竣工式を現地で行い、関係者らが完成を祝いました。完成した12棟では、熱水とIoT技術を使った通年生産で約50トンのバジルを出荷予定。「温泉バジル」として(株)サンリオのハローキティを起用したパッケージで市内外へ出荷されます。熱水ハウスは令和4年度までに計50棟に増やす予定で、児玉社長は「バジル産業が市に根付くように事業展開したい」と語りました。

国防担う未来を橋渡し

自衛官募集相談員に委嘱状を交付

市と自衛隊岩手地方協力本部は6月4日、岩手地方協力本部と自衛官に興味を持つ人をつなぐ募集相談員の委嘱状交付式を行いました。自衛隊岩手地方協力本部の遠藤宏明副本部長は「昨年度入隊者の約2割は募集相談員から紹介されたもので、活動による効果は大きい」と激励しました。募集相談員の任期は2年で、澤口勝美さん、遠藤博文さん、高橋智章さん、斎藤一夫さん(欠席)の4人が委嘱されました。



左から澤口さん、遠藤さん、高橋さん

ぬかる田んぼで四苦八苦

寺田小で田植え体験

地域の子どもの食育を学んでもらおうと活動する「地域ふれあい会」(工藤忠義会長、会員13人)は5月18日、寺田小5、6年生20人を対象に同校近くの田んぼで田植え体験を行いました。工藤会長は「田植え体験は今年で21回目。しっかり学んで家でも手伝ってほしい」とあいさつ。児童たちは泥だらけになりながら一生懸命手で植えました。11月には同校で育てる野菜と一緒にカレーライスを作り、収穫を祝う予定です。



泥に足をとられながら稲苗を植えます

陽光輝く清流に元気よく

安比川五日市橋付近で鮎の稚魚放流

河川環境と漁業について学んでもらおうと南部馬淵川漁業協同組合は6月9日、安代小1、2年生30人と安比川に鮎の稚魚約2,000匹を放流しました。児童たちは「鮎さん、大きくなってね」とバケツ越しに声を掛けながら稚魚を放流。元気よく泳ぐ姿に手を振り、笑顔で見送りました。同組合の工藤篤代表理事組合長は「鮎は清流でしか育たず、安比川は環境がいい。大きく育ち、たくさんの釣り人に来てもらいたい」と期待を寄せました。



小石の隙間に稚魚が入らないよう優しく放流する児童

すなっぶギャラリー



スイートコーンの種まき体験後、かぶりつく表情をみせる東慈寺保育園の園児(5月22日、サラダファーム)



法務大臣から人権擁護委員に委嘱された伊藤政子さん。再任5期目(7月1日、市役所)



三陸海岸兼マクドナルド杯学童軟式野球大会の市予選が開催(6月6、7の両日、松尾多目的運動場)



中止となった宿泊研修の代わりに校庭で野外活動を行う田頭小4、5年生16人(6月18日、田頭小)



いわてグルージャ盛岡が、6月27日のJ3リーグ開幕初戦に向け、表敬訪問(6月11日、市役所)